

# じゅしゅう

## 春季彼岸会 厳修

三月二十日、ご講師に兵庫県西宮市より四夷法顕先生をお迎えして「春季彼岸会」をお勤めいたしました。三年ぶりにご出講いただきましたが、前は前回がコロナ禍であり、マスクを着けてのご法話であったことを思い出します。何事もなくご法要をお勤めできることは何とも有難いことです。

三月二十日、ご講師に兵庫県西宮市より四夷法顕先生をお迎えして「春季彼岸会」をお勤めいたしました。三年ぶりにご出講いただきましたが、前は前回がコロナ禍であり、マスクを着けてのご法話であったことを思い出します。何事もなくご法要をお勤めできることは何とも有難いことです。

けれど、先生がおられた頃の野球部はあまり強いというわけではなく、周りからは甲子園に一番近くて、一番遠い学校だと言われていたそうです。「遠い」という言葉は「難しい」という意味があるという例えをお話してくださいました。

それに対して蓮如上人はどのように歌を返されます。「極楽は、十万億土と説くけれど、近道すれば南無のひと声」確かに極楽浄土は遠く、自分の力で行くのであれば難しい世界でしょうが、阿弥陀さま自ら立ち上がり、南無阿弥陀仏のみ声となつて私に届いておられるのです。「あなたと共に浄土への人生を歩んでいきますよ」との南無阿弥陀仏のよび声にまかすとき、お浄土は遥か彼方にあるのではなく、今、ここに開かれている世界なのです。



第72号  
(通算412号)

発行元  
浄土真宗本願寺派  
吉富山 浄覚寺  
大阪市平野区  
長吉長原3-1-10  
06-6790-8350

### 浄覚寺ヨガ教室

- ・4月16日(水)  
10時~11時半
- ・参加費500円

### 浄覚寺雅楽教室

- ・4月29日(火)  
19時~20時半
- ・参加費1000円

爾時仏告  
長老舍利弗  
從是西方  
過十万億仏土  
有世界  
名曰極樂  
其土有仏  
號阿弥陀  
今現在説法

『仏説阿弥陀經』



# 御文章に聞く(第65回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

一切女人章(五帖第十七通) それ、一切の女人の身は・後生を大事におもい・仏法をとうとくおもふ心あらば、なにのようもなく・阿彌陀如来をふかくたのみまいらせて、もろもろの雑行をふりすてて・一心に後生を・御たすけ候えと・ひしたのまん女人は、かならず極楽に往生すべきこと・さらに疑あるべからず、かようにおもいとりてのちは・ひたすら阿彌陀如来の・やすく御たすけにあずかるべきことの、ありがたさ・またとうとさよとふかく信じて、ねてもさめても・南無阿彌陀仏 南無阿彌陀仏と・申すべきばかりなり、これを信心とりたる・念仏者とは申すものなり、

あなかしこ あなかしこ

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。今月からは「一切女人章」を聞かせていただきます。まずは大意から。すべての女性は、自分の後生の大事さを知り、そのために仏法を尊く思い、大切にすべきであります。そのためには、さまざま思いわずらうことなく、阿彌陀仏のご本願をふかく信じて、自力のころや雑行を捨てて、ひと筋に「ご本願の仰せのとおり後生をおたすけください」と、おまかせすることです。ならば、極楽に往生させていたいただくことは、決して疑いありません。このように、まちがいのないおたすけを聞いた上からは、ただ、阿彌陀仏のおたすけのありがたさ、尊さを思つて、ねてもさめても南無阿彌陀仏、南無阿彌陀仏と、お念仏申すことが大切であります。このように心得た人こそ、他力の信心の念仏者と申すのであります。

# 仏教語辞典



邪鬼ともいう。昔は夜叉の家来として仏教に敵対していたが、結局四天王に調伏されてしまう。四天王像を見ると踏みつぶされている。他にもお釈迦さまの骨を奪って逃げるものの韋駄天に捕まったりと、散々な感じだが、今は仏教を支える存在になっている。

鬼おに

『気になる仏教語辞典』 著・麻田弘潤 誠文堂新光社  
 仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

## 編集後記

今月も「じゅこう」をお届けいたします。今年に入りお葬儀のご縁をたくさん勤めさせていただきました。幼少の時から育ててくださった方、何代にもわたりお寺を支えてくださったお家など、色んな思い出の中での勤めは寂しく辛いものでもありました。なぜ葬儀を勤めるのか。葬儀にどんな意味があるのか。程度の差はあっても悲しみの中におられる方々にどう寄り添えるのか。考え続ける中ではあります。私は往生浄土のみ教えをお伝えさせていただくことこそが僧侶としての役割だと思っております。お浄土があるからこそ支えられているのちがあることを、これからもお取り次ぎさせていただきます。(釋法道)

浄覚寺の公式LINEにぜひ登録ください。  
 デジタルで「じゅこう」をお届けします。



## 行事案内

日時・四月十二日(土) 十四時・十九時  
 十三日(日) 十四時のみ

行事・報恩講法要  
 場所・長原浄覚寺  
 法話・天岸淨圓先生(大阪)

一年間の中で一番大切にしている法要です。ぜひご参拝ください。  
 (なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)

5月  
 五月十一日(日) 十二時より  
 顕証寺 河内蓮如忌法要 参拝